

秩父クリーンセンター基幹的設備改良事業の概要について

- 1 目的 施設の延命化
熱エネルギーの有効利用を通じて温室効果ガスの発生抑制
- 2 目標 延命化目標は、竣工から30年以上の稼働をめざす
熱エネルギーを有効利用するため発電設備を新設する
財政負担の軽減を図るため、国の補助金を活用する
- 3 工事期間 平成24年度～平成26年度（3ヶ年）
- 4 発電設備導入
1000kw規模の発電設備を新設し、エネルギーの有効利用と施設の安定操業を図る。

発電の効果～ 停電等の場合にも自立運転が可能となり、安定したごみ焼却ができる
二酸化炭素排出量を現状より12.2%削減する

年間使用電力量540万kwhを賄う

年間300万kwhを売電する

ごみの熱エネルギーを有効利用（サーマルリサイクル）

